

・条件の提示による概念の意識変容に関する研究

○上越 太郎 (○ ○ 大学大学院)

妙高 一郎 (○ ○ 大学)

要約

本研究の目的は、次の3点である。第1は、各教科における○○を取り入れた授業についての教師の意識を明らかにすることである。第2は、既習前に○○条件(○○的○○を生じさせる条件)の提示による○○効果、○○効果を意識変容から検討することである。第3は、既習前に○○条件を提示することが、○○として機能するか検討することである。その結果、次のことが明らかになった。

キーワード 学び合い、人間関係、意識変容

I 問題の所在

最近の○○教育では、基礎基本の定着を図るとともに、主体的に問題解決できる能力が求められている。

○・○○(1994)は、○○概念を通して○○提示における概念変容の研究を行った¹⁾。それによると、事象をうまく○○できないときに○○的○○が生じ、その○○のために概念変容が起こると捉えている。つまり、概念○○である。

II 研究目的

本研究では、○○を解明することを目的とする。

《注意事項》

1. 原稿はA4版2枚とする。
2. タイトルはゴシック体14pt太字で、中央寄せにする。
3. 研究者名(所属校名)は明朝体12ptで右寄せにする。共同研究者、連絡先のアドレスについても同じ。
4. 要約は簡潔にまとめ、1行開けてキーワードを5語以内とする。1行開けて見出しを書き始める。
5. 見出しはゴシック体10.5pt太字で、前文との間を1行開ける。
6. 本文は2段組、文字数22字、行数43行とし、明朝体10.5ptで仕上げる。

7. 余白は上下25mm、左右20mmとする。

8. 各引用箇所には、1)、2)、3)の順に右上付けで番号を入れる。

<<原稿は2ページとする>>

引用文献

- 1) ○○・○○:「○○提示における生徒の概念の変容—○○を事例とした○○概念に関して—」,○○学会研究紀要, 2, pp.13-21, 1994

《注意事項》

著者名:「論文名」,雑誌名,巻,頁,発行年

著者名:「単行本」,頁,発行所,発行年